

2020年度 第108委員会活動報告書

第108委員会事務局 JBMIA

1. 第108委員会（オーディオ・ビデオ、情報技術、通信技術分野における電子機器の安全性）

1-1. 活動概要（全体）	委員長	羽鳥 光俊
1-2. MT1 分科会活動概要	主査	小原 章二
1-3. MT2 分科会活動概要	主査	柴田 恵
1-4. HBS 分科会活動概要	主査	近藤 孝彦
1-5. JIS C 6950-22 原案作成活動概要	主査	飯岡 茂幸
1-6. JIS C 62368-1 改正原案作成活動概要	主査	小原 章二
1-7. JIS C 62368-3 原案作成活動概要	主査	和田 卓也
1-8. JIS C 60990 原案作成活動概要	主査	和田 卓也
1-9. その他 Ad Hoc 委員会活動	主査	近藤 孝彦

1. 第 108 委員会（オーディオ・ビデオ、情報技術、通信技術分野における電子機器の安全性）

委員長 羽鳥 光俊

1-1. 活動概要（全体）

2020 年度は、3 件の国際規格原案等について審議を行った。主な内容は、(1) に示すとおりである。国内規格については、(2) に示すとおり、制定及び原案提出の対象 JIS はなかった。MT1 分科会、MT2 分科会、HBS 分科会、及び JIS 原案作成検討グループの活動の詳細は、各分科会活動概要の項参照。

(1) 国際規格対応について

2020 年度は、4, 11, 1 月に Web にて、IEC/TC108 HBSDT 会議が開催され、日本代表のエキスパート及びオブザーバが参加した。

TC108 から発行される審議文書については、下記 3 件の投票等を行った。

・ NP (New Work Item Proposal) :	0 件
・ CD (Committee draft for comment) :	0 件
・ DC (Document for Comments) :	1 件
・ CDV (Committee Draft for Vote) :	0 件
・ FDIS (Final Draft International Standard) :	0 件
・ DTR (Draft Technical Report) :	0 件
・ Q (Questionnaire) :	2 件

(2) 国内規格対応について

1) IEC 整合 JIS 原案の審議

制定及び原案提出の対象 JIS はなかった。

2) 電気用品安全法技術基準に関する整合規格の審議

JIS C 6950-22 と JIS C 62368-1（追補）は電気用品安全法の技術基準の解釈、別表第十二に、2020/10 に採用された。

1-2. MT1 分科会活動概要

主査 小原 章二

IEC 60065『オーディオ、ビデオ及び類似の電子機器—安全性要求』の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 1(MT1)に対応する国内委員会であるが、IEC 60065, Ed.8: 2014 が、2014 年 6 月に発行され、MT1 の担当規格改定作業は全て終了した。このため、特に分科会としての活動は行わなかった。

(1) 国際規格対応について

IEC 60065, Ed.8: 2014 の Corrigendum 2 (コイン/ボタン電池に対する要求はリチウムに限定しない、など) が発行された以降、新たな検討事項はなく MT1 としての活動行わなかった。

(2) 国内規格対応について

MT1 分科会では取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

前述のとおり、MT1 で取り扱っている規格の改定予定はない。IEC 60065 に関連した Interpretation Panel への質問事項等は、HBSDT の国際会議の中で扱われるので、都度対応していく。

(4) 2021 年度国際会議予定

- ・ 2021 年 4、5 月 HBSDT WEB 会議
- ・ 2021 年 秋 HBSDT WEB 会議

1-3. MT2 分科会活動概要

主査 柴田 恵

IEC 60950 『IT 機器の安全』パート 1 (一般要求) 及びパート 2 (個別要求) の改定提案プロジェクトを扱う IEC/TC108 のメンテナンスチーム 2 (MT2) に対応する国内委員会である。IEC 60950-22, Ed.2: 2016 が、2016 年 1 月に発行され、MT2 の担当規格改定作業は基本的に全て終了したが、MT2 が作成した規格に関連した審議が必要となった場合、HBS 分科会と協力して、MT-2 分科会の意見を反映する活動をしている。

(1) 国際規格対応について

MT2 担当の IEC TR 62102 規格を IEC62368-1 で使用している用語へ書き換えるための文書(108/719/DC)が、発行されたため、一昨年度 HBS 分科会との合同分科会を開催し審議を行い、同文書に対し、日本コメント 1 件を提出していたが、HBSDT Raleigh 会議において Ad hoc で検討することになった。2020 年度中まで、Ad hoc での進展はなかった。

(2) 国内規格対応について

MT2 分科会では、取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

MT2 担当の IEC TR 62102 規格を IEC62368-1 で使用している用語へ書き換えるための審議が継続されるため、HBS 分科会と協力して対応していく。IEC 60950 に関連した

Interpretation Panel への質問事項等は、HBSDT の国際会議の中で扱われるので、都度対応していく。

2021 年秋に開催予定のプレナリー会議で、MT2 の解散が議題となる予定で、MT2 の解散が承認されれば、分科会も解散し、残っている課題は HBS 分科会の中で対応していく。

(4) 2021 年度国際会議予定

- ・ 2021 年 4、5 月 HBSDT WEB 会議
- ・ 2021 年 秋 HBSDT WEB 会議

1-4. HBS 分科会活動概要

主査 近藤 孝彦

IEC 62368 『オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器の安全』 パート 1 及びそのシリーズ規格の制定並びに改定プロジェクト等を扱う IEC/TC108/HBSDT (ハザードベース規格作成チーム) に対応する国内委員会として、次の審議を行った。

(1) 国際規格対応について

2017 年に発行された IEC 62368-3, Ed.1 及び 2018 年に発行された IEC 62368-1, Ed.3 に関し、改定等が必要な事項に対して審議を行い、国際会議で提案するとともに、TC108 が発行した文書に対する審議も行った。HBS 分科会は 2020 年 9 月に 2 回、及び 2021 年 3 月に 1 回の計 3 回開催した。

2020 年 4 月に予定されていたサンディエゴでの会議はオンライン会議に変更されたが、エキスパート及びオブザーバが参加して、今までと同様に日本意見を反映させることができた。2020 年 11 月に行われたオンライン会議ではすべての議題の審議が終わらなかったが、2021 年 1 月に追加の会議が行われたことにより、予定していた日本からの提案事項等も含め審議することができた。

TC108 が発行した文書に対する日本意見の概要は、下表の通りである。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/740/Q	Proposal to Extend TC 108 Stability Dates TC108が所管する規格であって、更新を行わない期間に関する問い合わせ。	賛成と回答したが IEC62368-3については、改正すべき事項があり、Stability Dates以降に改正の審議をすべきとコメントした。
108/744/Q	Questionnaire for approval of a Category C between IEEE 802.3 Ethernet Working Group to IEC TC108 PT63315 IEEE 802.3 Ethernet Working Groupと IEC TC108 PT63315との間にカテゴリCのリエゾン関係を結んでよいかとの問い合わせ。	関連する審議団体であり、賛成とした。

文書番号	表題及び概要	日本意見概要
108/750A/DC	Revised TC 108/WG HBSDT proposed draft IEC 62368-1, Ed. 4 as agreed in the November 2020 Virtual meeting IEC62368-1の第4版に向けたドラフトに対して、コメントを求める文書。	技術的なコメントを4件、編集上のコメント3件を提出した。

(2) 国内規格対応について

HBS 分科会では取り扱わなかった。

(3) 今後の主要課題

IEC 62368 シリーズ規格の改定の審議、及び IEC62368-3 を新たな規格に置き換える PT での審議が進められており、それらに対応すべく、HBS 分科会において日本意見をまとめ、国際会議にて提案する。また、他国からの意見に対しても意見具申を行なう。

IEC/TC108 が所管する、IEC 62368 シリーズに関連した規格の作成・改定に関しては関連団体等とも連携を図り進める。

(4) 2021 年度国際会議予定

- ・2021 年 4、5 月 HBSDT WEB 会議
- ・2021 年 秋 HBSDT WEB 会議

1-5. JIS C 6950-22 原案作成活動概要

主査 飯岡 茂幸

(1) 概要

IEC 60950-22, Ed.2 に整合した新規 JIS として JIS C 6950-22 : 2019 が 2019 年 12 月 20 日に正式発行された後、2020 年 10 月 1 日付で電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈についての別表第十二に採用された。

(2) 今後の主要課題

IEC 60950-22 は、今後改定されないため、JIS C6950-22 も改定予定はない。

1-6. JIS C 62368-1 改正原案作成活動概要

主査 小原 章二

(1) 概要

JIS C 62368-1:2019 追補版は、電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用について、2020 年 3 月の電気用品調査委員会（書面審査）において了承され、同年 10 月に正式に採用された。

IEC 62368-1, Ed.3 「オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器 ー 第一部：安全性要求事項」が発行されたことを受け 2019 年から JIS 原案作成をはじめた。2019 年 10 月に JSA に原案提出を行い、2020 年 3 月に電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用を要望するために解釈検討第 2 部会に報告を行った。その後、2021 年 2 月に JIS

発行に対する電子技術専門委員会が開催され、いくつかのコメントがありエディトリアルな修正を行った。

(2) 今後の主要課題

今後、JIS 発行並びに J 規格化を前提とした修正の可能性もあり、適宜対応していく。

1-7. JIS C 62368-3 原案作成活動概要

主査 和田 卓也

(1) 概要

IEC 62368-3, Ed.1.0「オーディオ・ビデオ、情報及び通信技術機器—第3部：通信ケーブル及び通信ポートを介する直流電力伝送の安全性要求事項」が発行されたことを受け、2019年1月にJIS原案作成委員会を発足させ、JIS原案の作成を開始した。2019年10月に日本規格協会へJIS原案を提出し、2020年3月に電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の別表第十二への採用を要望するために解釈検討第2部会に報告を行った。その後、2021年2月にJIS発行に対する電子技術専門委員会が開催され、修正なく承認された。

(2) 今後の主要課題

IEC/TC108では、IEC 62368-3の適用は「任意」であることをINF文書で示す予定となっており、国際的にはIEC 62368-3の法令引用を避ける動きとなっている。INF文書が発行された場合、JIS C 62368-3についても国際整合化を重視し、別表第十二への採用提案を取りやめる予定である。

1-8. JIS C 60990 原案作成活動概要

主査 和田 卓也

(1) 概要

対象国際規格 IEC 60990 Ed.3.0: 2016「タッチカレント及び保護導体電流の測定法」は、JIS C 62368-1だけでなく、JIS C 1010-1 や JIS C 9335-1 等、幅広い工業分野で引用されており、また、電気用品安全法の技術基準省令の解釈別表第十二で定める整合規格の多くで、測定法規格として引用されていることから、2020年11月にJIS原案作成検討会を発足させ、JIS素案の作成を開始した。

2020年度は、COVID-19の影響からオンライン会議にて審議を進め、3月末までに計9回開催した。2021年度JIS原案作成公募区分Dの応募期限2021年8月20日までに素案を完成させる予定。

(2) 今後の主要課題

COVID-19の影響から対面式での審議が実施できておらず、オンライン会議にて隔週2時間で

審議を進めているが、翻訳作業に想定していた以上の期間を要している。
対面式審議が可能になった際には、作業ペースを加速させていく。

1-9. タスクフォース及びアドホック活動

主査 近藤 孝彦

附属書 M-TF は、電池に関連する事項に関して審議する TF である。2020 年 5 月、9 月 10 月、及び 2021 年 3 月にオンライン会議を開催し、日本の意見をまとめた。

光放射-TF は、光放射に関連する部分に関して審議する TF である。2020 年度は審議すべき事項が無かった。

以上